Delta-8は〈オートマチック〉と〈マニュアル〉の2種類リンク（バインド）方法があります。

【オートリンク】

1. プロポの電源を入れます。
   （Frskyの場合、送信モジュールのボタンを押しながら電源を入れてリンクモードにしてください。）
2. DELTA-8のF/Sボタンを押しながら電源を入れて、
   緑LEDが点滅し始めたら、直ぐにF/Sボタンを放してそのまま待ちます。
3. Delta-8が全モードを順にスキャンしていきます。（※下記参照）
4. LEDが下記の⑤及び⑥状態になればリンク完了です。
5. プロポ・Delta-8共に電源を入れ直し、緑LEDが点灯し正常に動作する事を確認して下さい。

オートリンクのスキャン順 及び LED説明	
① Frsky　D8	緑LED　早い点滅
② Frsky　V8	緑LED　遅い点滅
③ ハイテック　A-FHSS	赤LED　遅い点滅
④ フタバ　S-FHSS/FHSS	赤LED　遅い点滅
①～④を順番に繰り返し、リンク完了で⑤及び⑥に移行します。	
⑤ リンク完了	赤＆緑LED　両方早い点滅
⑥ リンク完了(PPMモード)	赤LED点灯　緑LED早い点滅

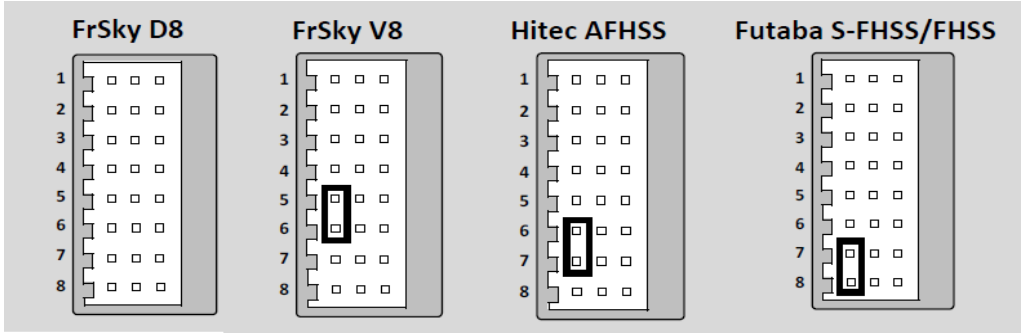
【マニュアルリンク】

付属のジャンパーコネクターを接続するとリンクモードが固定されます。（オートリンク「3.」の部分）

その他はオートリンクと同じ手順になります。

リンク完了後はジャンパーコネクターを外してください。

プロポ・Delta-8共に電源を入れ直し、緑LEDが点灯し正常に動作する事を確認して下さい。



※ハイテックのプロポ・モジュールの場合、ファームウェアVer.が古いとリンクできない場合があります。
　ファームウェアを最新Ver.に更新してからリンク操作をしてください。

禁無断転載・複製 2013.9

【フェイルセーフの設定】

1. プロポ、Delta-8の順に電源を入れます。
2. 設定したいポジションにプロポのスティックを操作して保持します。
3. Delta-8のF/Sボタンを5秒ほど押し続けます。
4. 赤LEDが早く点滅したらフェイルセーフのセット完了です。
5. プロポ・Delta-8共に電源を入れ直し、緑LEDが点灯し正常に動作する事を確認して下さい。

※ プロポ側のフェイルセーフはOFFにしてください。

【Delta-8の搭載】

スポンジで包むなど、機体からの振動対策をしてください。
2つのアンテナ（先端の細い部分）はできるだけ曲げないでください。
2つのアンテナがお互いに90度の位置関係になるようにしてください。
アンテナ同士はできるだけ離してください。
アンテナの近くに金属等の導電体が無いようにしてください。受信特性に影響を与える可能性があります。
機体がカーボンや金属を蒸着したフィルムなど、導電性の材質でおおわれている場合、
アンテナ部分を必ず機体の外に出してください。
アンテナはモーターやアンプなど、ノイズ発生源からできるだけ離してください。

【電源について】

サーボを最大負荷状態にしても、受信機電圧が3V以下にならないように電源を確保して下さい。
2.4GHz受信機は電源の確保が非常に重要です。
Futaba純正やJR純正を含む全ての2.4GHz受信機に起きることですが、
電源不調よる瞬間的な電圧低下でも、受信機の動作が途絶えてしまうことがあります。
すぐに電圧が回復しても、クリスタル式受信機と違い瞬時には回復しません。
2.4GHz受信機は、プロポの信号を捕捉して再動作するまでに数秒かかります。
電圧低下によるトラブルを未然に防ぐため、受信機用コンデンサ（キャパシタ）の併用をお勧めします。

【スペック】

動作電圧範囲 ： 3.0V～16.0V
サイズ ： 44×24×14mm
重さ ： 9.3g
（スペックは全てメーカー公表値です。）

TK-HOBBY

禁無断転載・複製 2013.9